

講座・イベントの ごあんない

イベント

日時

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ■市民活動プラザむつあい 休館日変更 | 7月15日(月・祝)開館、16日(火)休館 |
| ■ITサポート講座「らくらくエクセル講座(全2回)」 | 7月22日・29日(月) 13:30~16:00 |
| ■特定非営利活動法人条例指定制度 令和6年度申請期間 | 7月10日(水) ~ 8月9日(金) |
| ■藤沢市役所サイネージPR団体募集 | 7月31日(水) 締切 |
| ■プラザde学ぶ3回連続講座「広報したいこと」を考える | 8月3日、24日、31日(土) 10:00~12:00 |

NEW!

支援施設からのお知らせ

■ITサポート講座「らくらくエクセル講座」

「集計表」などの表計算の基本から、会員名簿におけるデータ整理といった中級スキルまで習得できます！
初級～中級向けの講座となります。

日時：2024年7月22日、29日いずれも(月) 13:30～16:00

会場：市民活動推進センター会議室

内容：1回目：エクセル初級、2回目：エクセル中級

受講料：2回で2,500円※1回の場合は1,500円

対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

定員：10名(先着順・貸出PC5台まで)

講師・運営：藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ ITサポーター



■寄附金税額控除の対象となるNPO法人になりませんか

藤沢市では、市内で活動するNPO法人を支援する仕組みとして、「個人市民税の寄附金税額控除の対象となる寄附金を受け入れるNPO法人を条例で指定する制度」(特定非営利活動法人(NPO法人)条例指定制度)を実施しています。

本制度で指定されたNPO法人への寄附金は、個人住民税の寄附金控除の対象となるため、指定NPO法人になると、寄附が集まりやすくなるなどのメリットがあります。対象や要件は、「指定申出の手引き」でご確認いただけます。詳細は藤沢市ホームページをご覧ください。

申出期間：7月10日(水)～8月9日(金)

問い合わせ先：藤沢市役所 市民自治推進課

TEL 0466-50-3516 FAX 0466-50-8407

Eメール：fj-jiti-s2@city.fujisawa.lg.jp



■藤沢市役所サイネージPR団体募集

藤沢市役所のエレベーターホールなど各所に設置されているデジタルサイネージで、公益活動を行っている団体をPRする動画を流します！
お写真等の画像データと文章等のご提供が可能であればお申込みいただけます。

締切：7月31日(水)

場所：藤沢市役所 デジタルサイネージ

料金：無料

対象：藤沢市市民活動支援施設 登録団体

問合せ：市民活動推進センター



■プラザde学ぶ3回連続講座「広報したいこと」を考える

第1回「NPOのための事業アイデアの見つけ方」、第2回「アイデアを形にして広報する」、第3回「広報の基本 広報物の作り方」の全3回で、団体の広報について学びます。

日時：2024年8月3日、24日、31日いずれも(土) 10:00～12:00

会場：六会公民館2階 第1談話室

講師：フジサワキカク 村田 遥人氏(第1回)

藤沢市市民活動支援施設アドバイザー 林 純(第2回)

市民活動プラザむつあいスタッフ 生田 光弘(第3回)

料金：無料

対象：藤沢市市民活動支援施設 登録団体

定員：15団体(先着順)



■市民活動プラザむつあい 休館日変更

「市民活動プラザむつあい」は、海の日のため2024年7月15日(月・祝)を開館日といたします。翌日16日(火)が休館日となります。ご注意ください。



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール：f-npoc@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です！



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール：f-npoplaza@shonanfujisawa.com



藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：本気が作るユニバーサルカヌー



辻堂海浜公園では、季節ごとに様々なイベントが行われており、毎年カヌーの体験会も実施されています。体験できるのは普通のカヌーではなく、障がいをお持ちの方でも参加できる「ユニバーサルカヌー」の体験会です。2003年に湘南工科大学の和田教授によって、同学と神奈川県公園協会(以下、公園協会)との協働で企画され、翌年から試乗会が開始されました。2007年から現在へと続く体験会が実施されており、これまで述べ5万人以上が参加しています。毎年春と秋に開催されてきましたが、会場であるサザン池の改修に伴い、2024年は通常

通りの秋開催が見送られ、ジャンボプールで回数を補う形になります。それでも、この機会にさらに進化したユニバーサルカヌーを開発すべく、現在クラウドファンディングが行われています。

ユニバーサルカヌー体験会は当初の体制から、和田教授が携わる(公社)かながわデザイン機構の運営などを経て、2016年に現体制であるNPO法人HONKI Univercity(以下、HONKI)と公園協会との協働運営となっています。今号では、HONKIの梅原さんにお話を伺いました。(つづく)



■ 本気が作るユニバーサルカヌー

団体設立までの経緯を尋ねると、梅原さんは「アメリカの大学院にいたときに、東日本大震災があり、何かできることがないかと思い、当時受け持っていた日本文化や日本語の授業の学生に声掛けして募金を始めました。内気な子が多く、始めは募金を断られるたびに落ち込んでいた。それが教会の集まりやアルバイト先での募金を提案してくれるようになって、大学生になっても人は変わるんだなというのを感じました」と語りました。しかし、日本に帰って大学で教え始めると、学生たちから、大人になる事へのネガティブさを感じます。梅原さんは「大人も楽しいんだと感じさせるロールモデルが無いんじゃないかと思いました。それで外部の大人と学生が学内で接する機会を作っていたんです」と当時を振り返ります。しかし、構内で行うことに大学側から待ったがかかり、NPO 法人としての活動にしていたそうです。カヌーの体験会のほかにも、水の安全教室やスポーツ体験のほか、必ず「本気で」参加しなければいけない運動会などを行ってきており、大学生に「楽しく生きよう」と伝える団体として始まりましたが、今は大学生だけではなく「みんな楽しく生きよう」という活動となっています。



THE HONKI 運動会

カヌーの体験会は、受付こそ一般と障がいをお持ちの方で分かれています。池の中では一緒に楽しめます。体験会開始時などは障がい児ケアの専門家が横についていたそうですが、船もスタッフも別々になると、「こっちの人・あっちの人」の壁を感じさせる側面もありました。HONKI の運営になってからはその壁を取り払い、参加者本人や介助者とのコミュニケーションを重視してカヌーの種類も選ぶなど、それぞれの参加の仕方を



ハロウィンカヌー

提案しています。梅原さんによると「団体としては、みんなが同じ空間を楽しめることをとても大事にしています」とのことです。協働運営である体験会でも団体のコンセプトを貫いています。あるダウン症児の親御さんから「最初は怖がっていた子どもが、だんだん楽しくなって、カヌーを漕げるようになっていく姿から、すごく成長が見られて嬉しい」という感想もあり、スタッフの雰囲気づくりやサポートから来る、満足度の高さを窺わせます。今秋はサザン池が使えないことから、通常は年1回の同公園ジャンプボールでの体験会については例年より多く行われます。梅原さん曰く、「抽選倍率が3倍を超えていたので、この機会に楽しんでほしいです」とのことです。

クラウドファンディングについては公園協会から打診があり、新しいカヌー製造のために250万円を目標額として、2024年10月31日までの期間で行われています。梅原さんは「同じ艇を作っても面白くないので、車いすのままでも乗れたりする『今までにない本当のユニバーサルカヌー』のようなものを作りたいと考えています」と語りました。リターン品においても活動に共感する茅ヶ崎のアーティスト・ブランドにお声掛けして、団体の想いを込めています。7月20日・21日に同公園内で開催される「辻の盆」でもクラウドファンディングのPRブースとHONKIのブースが来店予定ですので、ぜひブースを訪れてみてください。

(取材と記事作成：関野)

団体紹介

(N) HONKI University

【設立】2016年

【代表】梅原洋陽



団体ウェブサイト



クラウドファンディング

ひとりひとりが自分の本当の気持ち(本気)を信じ、それぞれが他者と共有できる世の中にする必要がある。この熱い想いがHONKI University発足のはじまりです。

「本当の気持ちを大事にできる人を増やしたい」という強い想いを胸に学生たちと活動をスタートし、今では学生に限らず小さな子どもから大人まで。年齢や国籍、いろいろなバックグラウンドに関わらず、誰もが自分の人生を自分らしく生きる

れるそんな「きっかけ」を見つけられる場所や機会を作る活動をしています。



SDGs に関する全国調査プロジェクト

NPO TIPS

皆さん、日本のSDGs認知度が世界1位になったことはご存知でしょうか。しかし、日々の活動とSDGs目標を結びつけることに積極的になれない団体も多いかもしれません。「NPO・市民活動団体の全国調査報告書2024」(赤い羽根共同募金助成事業)によれば、42%の団体がSDGsについて「表面的な取り組みになりがち」と考えています。

この調査プロジェクトは、深刻化する様々な社会課題に対し、現場に駆けつけ当事者に寄り添って解決に取り組んでいるNPOの実態に基づいて、その取り組みがSDGs達成に大きな力となっていることを示すことも含め、全国のNPOにご協力をいただいたものです。

他セクターとの連携を考え始めたときに、この報告書が参考資料として活用できると思いますので今回紹介します。

初めての全国調査

・回答数：全国のNPO(任意団体なども

含む)から1118件の回答
・神奈川県回答数：89件の回答は全国で2番目に多い結果に
※報告書は、藤沢市市民活動推進センター/プラザむつあいで報告書をご覧ください。また、こちらのサイトから無料でダウンロードができます
https://www.sdgs-japan.net/single-post/chiiki_survey23_report

SDGsを連携のキーワードとして活用(報告書より)

SDGsの視点を取り入れることで、自治体、学校、地元企業などと協働が進み、地域課題の解決と目標達成の両立が期待されています。

調査では「行政」と連携している団体は、「普及・啓発・情報発信」「サービス提供」「ネットワーク」の3つがメインとなる手法で、「企業・事業者」と連携している団体では「資金提供」「物品提供」の割合が多いことがわかりました。

3年間の調査プロジェクト(今年は2年目)

今年は調査プロジェクトの2年目として、他セクターとの連携などの好事例のある全国のNPOへインタビューがあります。神奈川県からも3団体へのインタビューが予定されています。

当施設の指定管理団体は、「湘南SDGsネットワーク」の事務局も担当しています。ご相談等も承りますので、お気軽にお問合せ下さい。
(<https://sdgs-shonan.com/>) (五)



コミュニティ「community」とアソシエーション「association」

市民の自主的な活動の組織の呼び名として、「コミュニティ」を使うことが多かったのですが、最近「アソシエーション」という言葉を目にすることが多くなりました。アメリカの社会学者であるマッキーバー(Robert Morrison MacIver 1882—1970)によれば、コミュニティとは「共同性」「地域性」の二つのキーワードによって生まれる集団で、アソシエーションとは、「ある目的のために集まり生まれた集団」としているようです。それを踏まえると、自治会や町内会、子ども会、母親クラブなどは、同じ地域、同じ環境、更に、同じ世代という「共同性、地域性から生まれた集団」で、コミュニティと言えます。それに対して、例えばある特定の社会課題を解決するために構成員を募り組織となっている「ボランティア団体」や「市民活動組織」は、アソシエーションと言えるのではないのでしょうか。両方の組織ともに、市民が主体的に関わり、自由な発想のもとに活動を続けています。筆者がこれまで学びの中に無かった「社会学」の言葉です。

近年、自治会町内会の加入率の低下が話題になり、コミュニティの再生が大きな地域課題として取り上げられ、行政主導で施策が講じられてきています。地域福祉的な問題、防災的な課題は日常生活に密接に関係していますので、コミュニティは住民の「命綱」となっているのでしょうか。新たなコミュニティの誕生も期待されています。

課題解決を主軸に、活動のメンバーの地域性にこだわることなく、自由な発想で自主的に始める、いわゆるテーマ型の活動をアソシエーションと表現し、こちら

NPO法の設立から約30年が経ち、組織の寿命の課題が沸々と上がってきています。

アソシエーションを天文学的に見ると、「同じ起源を持ち、重力的な束縛からは解放されているが、未だ宇宙空間を共に移動している恒星で構成される、非常に緩やかな散開星団である。同じアソシエーションに属する星であるか否かは、移動方向と星の年齢によって識別される。」とあります。以下に筆者なりの解説を試みました。

- ・同じ起源を持ち→同じ課題意識を持つ
- ・重力的な束縛からは解放されている→圧倒的な権力構造の中にはいない、解放されている
- ・宇宙空間を共に移動している恒星(自ら発光する星)で構成される→自らの熱量で行動しているメンバーで構成され、行動を共にしている
- ・非常に緩やかな散開星団(不規則に集まった比較的若い星の集団)→緩やかな関係性を保っている開かれた集団

いかがでしょう。皆様の活動や行動は、コミュニティでしょうか、アソシエーションでしょうか。梅雨が明けると星空も見えるようになります。自組織の現時点での立ち位置や今後の方針など、空を見上げて考える時間をつくりましょう。(て)



2024年

情報クリップ

7月号



藤沢周辺の講座やイベント、NPO支援情報を掲載しています。発信したい情報がある場合はお問合せ下さい。
ウェブサイトではさらに詳しく掲載されていますので、右の二次元コードからご覧ください。

発行：藤沢市市民活動推進センター ☎0466-54-4510 ✉f-npoc@shonanfujisawa.com



7/21

講座

善行雑学大学 第302回 講座のご案内

日 時 7月21日(日)14:00~16:00 13:30開場
会 場 善行公民館(善行市民センター) 3階 多目的ホール
内 容 「人生の思い出を綴る～自分史の作り方」 家族も読み
たくなる…あなたが歩んで来た道を振り返ってみましょう。
講 師 高島慶次氏(王樹の森工房代表、善行雑学大学名誉
会員)
参加費 500円(会員無料)
問合せ 善行雑学大学 ☎090-7251-3232(片岡信弘)
✉kataoka9@gmail.com

情報No. 112035

7/27

イベント

公開マンション管理セミナー & 無料相談会 IN藤沢

日 時 7月27日(土)15:00~16:30
会 場 藤沢市市民活動推進センター会議室
内 容 管理組合における規約変更の手順について&無料相
談会
問合せ (N)分譲マンション管理相談センター
✉info@bunjyounpo.or.jp
🏠https://www.bunjyounpo.or.jp

情報No. 111881

7/28

イベント

サブカルチャー交流会

日 時 7月28日(日)13:00~15:00
会 場 藤沢市市民活動推進センター 会議室A
内 容 アニメ・ゲーム・漫画好きが気軽に対面でコミュニケー
ションをできる居場所です。
参加費 100円
問合せ サブカルチャーコミュニケーション学院
(伊東) LINEからご連絡ください→



情報No. 112139

7/31 他

イベント

「山羊のメリーさん」 CLAY MAKING WS

日 時 7月31日(水)、8月1日(木)、2日(金)、3日(土)
13:00~16:00 ※どれか1日を選んでください。
会 場 目白山版画工房(藤沢市片瀬目白山3-1)
内 容 思いの詰まった服やドレスの端切れ、ビー玉・小石など
の小物で作品を制作
講 師 中村正氏(美術家) インスタグラム goat_mrs_mary
参加費 5,000円 おやつ付
問合せ 目白山版画工房 ☎0466-25-9387
🏠https://www.mejiroyamaprints.com/

情報No. 112123

8/9

セミナー

あなたの防犯力が地域の防犯力を 高める「特別防犯講演会」

日 時 8月9日(金)14:00~16:00 13:30開場
会 場 かながわ県民センター3階301会議室
内 容 【第1部】特殊詐欺の傾向と対策 【第2部】特別講
演：防犯ボランティアが育む！地域の安全と安心～
見守りの意義と効果、パトロールのコツ～
講師：武田信彦氏(安全インストラクター)
参加費 無料
締 切 7月31日(水)
問合せ 神奈川県くらし安全交通課推進グループ
☎045-210-3520

情報No. 112098

9/6 他

講座

リスナルケアラー養成講座(入門編) コミュニケーションでつなぐ親子と社会

日 時 9月6日、13日、20日、27日 すべて金曜、全4回
9:30~12:40
会 場 かながわ県民センター11階 かながわコミュニティカ
レッジ講義室
内 容 子育て世代の親に寄り添い、孤立・虐待を防ぐ相談員
の養成講座
実 施 (N)ひだまりの森
受講料 7,200円(8月20日(火)申込締切)
問合せ かながわコミュニティカレッジ事務局
☎045-620-0743
🏠「かながわコミュニティカレッジ」で検索

情報No. 112143

NPO支援情報

※下記以外にも情報があります。
詳細は、右の二次元コードから「支援情報データベース」をご覧になるか、
スタッフにお尋ねください。



情報No.	助成金名	分野	主催	締切
74015	第18回かながわ子ども・子育て支援大賞	子ども	神奈川県福祉子どもみらい局	7/29
74099	Panasonic NPO/NGOサポートファンド forSDGs 海外助成	保健 国際	パナソニック ホールディング ス株式会社	7/31
74100	Panasonic NPO/NGOサポートファンド forSDGs 国内助成	保健	パナソニック ホールディング ス株式会社	7/31
73995	住まいのまちなみコンクール	まち	一般財団法人 住宅生産振興財 団	7/31
74005	神奈川県弁護士会人権賞	人権	神奈川県弁護士会	7/31
74017	2024年度 パルシステム東京 市民活動助成基 金	全分野	生活協同組合パルシステム東 京	7/31
73999	プロジェクト未来遺産2024	環境	公益社団法人 日本ユネスコ協 会連盟	8/9
74016	2024年度藤沢市アートスペース制作・展示 支援プログラム「Artists in FAS 2024」	学文	藤沢市アートスペース	8/12
74009	第95・96・97基 そらべあスマイルプロジェ クト	環境 子ども	そらべあ基金	8/30
73981	パタゴニア環境助成金プログラム	環境	パタゴニア・インターナショ ナル・インク日本支社	8/31
73986	2024年度 社会福祉法人 松の花基金 知的障 害者向け助成金	保健 子ども	社会福祉法人 松の花基金	8/31
73992	日本女性学習財団未来大賞	全分野	公益財団法人 日本女性学習財 団	8/31
74014	かながわボランティア活動推進基金21 ボラ ンタリー活動奨励賞（令和6年度事業分）	全分野	かながわ県民活動サポートセ ンター	9/12
73994	公園・夢プラン大賞	まち	一般財団法人 公園財団	9/27
74001	がん患者団体助成	保健	公益財団法人 正力厚生会	10/17
74013	かながわボランティア活動推進基金21 ボラ ンタリー活動補助金（令和7年度事業分）	全分野	かながわ県民活動サポートセ ンター	10/17
74000	ちゅうでん教育振興助成 高等専門学校の部	子ども	公益財団法人 ちゅうでん教育 振興財団	11/25
73989	2024年度 災害時等における救援活動支援助 成	保健 災害	公益財団法人 ニッポンハム食 の未来財団	3/31

※ 保健＝保健、医療又は福祉の増進 / まち＝まちづくりの推進 / 学文＝学術、文化、芸術又はスポーツの振興 / 環境＝
環境の保全 / 災害＝災害救援活動 / 人権＝人権の擁護又は平和の推進 / 国際＝国際協力 / 子ども＝子どもの健全育成
※(N)＝NPO法人